

第34号

(2018年4月1日発行)

発行:中央大学学会 出版白門会

CONTENTS

(お名前は敬称略)

▽2018年新年会報告	1
▽追悼	1
▽河合雅司氏新春講演会	2
「人口減少という『静かなる有事』戦略的に縮もう!」	…丹田 公和
▽「中大生よ 本を読め! 2」開催報告	2
…齋藤 毅	
▽私の仕事場(ノラ・コミュニケーションズ)	2
…中川 順一	
▽出版白門会へようこそ	2
▽箱根駅伝予選会~本戦応援	3
…北村 信治	
▽第94回箱根駅伝を振り返って	3
…加藤 守	
▽ホームカミングデー・秋元康氏講演会を拜聴して	3
…北村 信治	
▽白門同窓生の本	3
▽第17回能楽鑑賞会に参加して	4
…藤実 正太	
▽学員交歓	4
▽告知板	4
▽編集後記	4

出版白門会の関連行事予定

- ①第9回地図を通して知る東京 6月2日(土)
※詳細が決まり次第、HPと会員メールにてご案内いたします。
- ②出版関連セミナー
※詳細が決まり次第、HPと会員メールにてご案内いたします。
- ③第19回定期総会・懇親会
7月20日(金)18時30分~
会場:日本出版クラブ会館2階 さくら
※後日、出欠確認を兼ねたご案内を送りいたします。
- ④会報(35号)発行 10月1日(月)
- ⑤ホームカミングデー 10月7日(日)
- ⑥箱根駅伝予選会応援 10月13日(土)
- ⑦第18回能楽鑑賞会
12月8日(土)12時開演 13時開演
会場:国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1) / JR千駄ヶ谷駅より徒歩5分
狂言 文相撲(ふずもう) 善竹忠重(大蔵流)
能 経正(つねまさ) 替之型(かえのかた) 角寛次朗(観世流)
※「申し込み方法」「内容詳細」は10月発行予定の第35号会報に同封する、申し込みチラシをご覧ください。

■行事に関するお問い合わせは、下記メールでご連絡ください。
E-mail:pub.hakumon@gmail.com
なお、上記行事のほか、皆さまの仕事に役立つ企画、あるいは懇親の企画を検討中です。

追悼



■**濱田 博信 前会長**(2018.2.24 享年75) 1966年経済学部卒 2010年より2016年まで第2代会長を務めていただきました。突然の訃報を知らされ、ただびっくりするばかりです。昨年5月、出版白門会の新年度役員体制を相談するため日本図書普及へお邪魔いたしました。濱田さんにはもう一年、会長職の延長をお願いしなければ、と思いつつ訪問しましたが体調が必ずしも万全ではない様子、直接お目にかかったのはこれが最後でした。濱田さんには会長として毎月の幹事会に必ずご出席いただき、現場の声に耳を傾けていただいたこと、また4年前に私が会社を引退したのを機に当会の副会長職も退きたいと申し入れた際には、もう少し付き合ってくださいと肩をたたかれたことも忘れられません。副会長として会長を支えなければならない立場にありながら十分に職務を全うできなかったこと、大変申し訳ないと思っております。お住まいは私と同じ所沢市内。休日に買い物に出かけた際に街中でばったりお目にかかったこともありました。お互いに手をあげて「や〜」「コンチワー」の挨拶。業務上ではライバル同士ではあっても、当会では会長・副会長の間柄、もう少しプライベートなお付き合いをしたかったという思いでいっぱいです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。 出版白門会顧問 朝妻 伸雄



■**雨谷 正己 前理事**(2017.11.26 享年82) 1958年商学部卒 2004年より2015年まで理事を務めていただきました。私が雨谷正己様のご逝去を知ったのは、11月30日の夜中でした。その日は市内に独り暮らしをしていた妹が、ヒートショック死にて彼岸に旅立った日でした。竹林幹事長からのメールを見たのは12月1日になっていました。本来ならば直ぐにも駆けつけるべき先輩であり、所謂神田村の活性化の為に勉強会を行い、問題を共有し、親しく相談できる仲間でした。私は突然の事件に遭遇、警察の検視、解剖、届出事務等にて、訃報は遅くなって知る結果になり残念でなりません。妹の葬儀と重なり、奥様に手紙をしたため、ご霊前にお供えと、参列出来ない事情の詫言を差し上げるのが精一杯でした。雨谷先輩とは昭文社の棚橋允義先輩を通じて、30年に及ぶお付き合いを頂きました。中大ボクシング部のOB会会長として母校の発展に寄与され、東京オリンピック金メダリスト桜井選手と四人で新宿を豪快に飲み歩いたことを思い出しました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。合掌 出版白門会顧問 小竹 正倫

出版白門

● 出版界に出版白門の知恵と情熱を! ●

●基本方針

1. 会員ニーズに応える活動による、会員満足度の向上
2. 中央大学、学会、他支部との連携強化
3. 会費徴収促進による、財政の健全化

2018年新年会報告

1月26日、厳しい冷え込みの中、東京・新宿区の日本出版クラブ会館において44名出席のもと、出版白門会新年会が開催された。第一部の新春講演会では、1月現在43万部を超えるベストセラーとなった『未来の年表』の著者であり、産経新聞論説委員の白門OB、河合雅司氏を講師に迎え、「人口減少という『静かなる有事』 戦略的に縮もう!」とのタイトルでお話を伺った。様々なデータを使い、日本の出生数、高齢者数、将来推計人口を示し、歴史上、未だかつてない量とスピードで人口減少が進んでいること、政府が進める4つの対策に加えて、今までの価値観を変え「小さくても豊かな国」を目指していくことが大事であるとの話に、出席者一同、衝撃を受けながらも、仕事やライフスタイルの新たな価値観を考える

契機となり、非常に有意義な講演会であった。

第二部の懇親会は、インフルエンザの風間会長に代わり、森副会長が挨拶に立ち、「未来の年表では、大学倒産の危機にも触れているが、中大はそうならないよう、中大の名を轟かせる活躍をしよう」との檄と乾杯でスタートした。初参加者紹介では、SBクリエイティブの伊藤さん、誠晃印刷の島田さん、図書館司書の橋爪さん(会員であるご主人の代理参加)3名の自己紹介に大きな拍手が送られた。

続いて、恒例の新春ピンゴ大会では、初参加の島田さんが見事に1等の図書カード3000円分を獲得。土屋会計監査の歌唱指導による校歌斉唱、エールと続き、最後に一戸理事の中締めで名残を残しつつお開きとなった。



河合雅司氏を囲んで



新入会の方々



和やかに懇親



恒例の餅食での二次会

出版白門会ホームページアドレス <http://pub-hakumon.jimdo.com/>

facebook 出版白門会サイトへのアクセスは検索サイトの「出版白門会(中央大学学会職域支部)」から…

2018年度出版白門会新春講演会を開催

丹田 公和

1月26日、出版クラブに河合雅司氏（産経新聞社論説委員）を講師にお迎えし「人口減少という『静かなる有事』 戦略的に縮もう!」の演題で表記の講演会を開催しました。

会場では、43万部のベストセラー『未来の年表 人口減少日本でこれから起きる

事』（講談社現代新書）の著者が語る、詳細なデータに基づく日本の衝撃的な未来像に参加者は固唾を呑んで聞き入っていました。始まった、世界で初めて経験する日本の超高齢社会、止まらない負のスパイラルに陥った少子化の流れ等への取組みの遅れに対する警鐘、ビジネスのあり方さえ根本

的に発想を変えなければならぬという、今後の取組みに対する貴重な提言。1時間という短時間の中で、大いに啓発される中身の濃い講演会でした。



「中大生よ本を読め! 2」開催報告

齋藤 毅

2015年に続き、2年振りに第2回目の企画「中大生よ 本を読め! 2 出版界で働く先輩が薦める100冊の本」フェアを2017年10月16日(月)~12月22日(金)に中央大学生協多摩店の書籍コーナーにて展開しました。

今回は急遽決まった感があり、9月の声を聞いてからの「100冊選り」になりました。「読書の秋」「最近の大学生の読書時間低下を打破」といった時流に乗り、「■読書を楽しむための本、出版界もまだまだ面白い」「■先輩が薦める『これだけは読んで欲しい一冊』」というテーマに沿った100冊を、企画プロジェクトチームのメンバーをはじめ、当会の会員から推薦いただきました。突貫工事感が否めない中、選書リストの作成に古寺さんをはじめとする、若手会員も加わり一致団結して開催期日に漕ぎつけました。

会期が終了し、中大生協の木下さんから売り上げ集計をいただきました。売り上げ冊数上位10位の内容は右表の通りです。

1位の「データ分析の力 因果関係に迫る思考

法」が断トツの25冊で、書名から難しい内容をおぼろげな本ではありますが、もしかしたら、教員からの授業中のコメントやメッセージがあったという相乗効果が出たと考えられると、木下さん。ドラマで有名になった本「陸王」、新刊時には全く手に取られなかったベストセラー自己啓発本「やり抜く力」など、フェアだからこそこの売り上げもあった模様です。「読書時間ゼロ」の大学



生が世間には多くいる傾向ではありますが…「母校中央大学の学生たちは意外にも真面目に読書し自己研鑽をしている（他大学に比べ）」と思います」と木下さんが総括。

他校生協ではこのような企画を行っているとの情報はないので、当会が卒業生と現役学生との間を繋ぐ新しい風と伝統になるよう皆様の協力のもと次回以降も開催できればと思います。

順位	著者名	書名	本体価格	出版社	刊行年	ISBN	売上冊数	推薦者	卒年・学部
1	伊藤 公一朗	データ分析の力 因果関係に迫る思考法	¥780	光文社	2017	9784334039868	25	中川 いずみ	H21・文
2	本多 勝一	日本語の作文技術 (新版)	¥600	朝日新聞出版	2015	9784022618450	18	古寺 雄大	H28・文
3	岩瀬 大輔	入社1年目の教科書	¥1,428	ダイヤモンド社	2011	9784478015421	14	北村 信治	H7・法
4	池井戸 潤	陸王	¥1,836	集英社	2016	9784087716191	13	森岡 憲司	61・法
5	アンジェラ・ダックワース 神崎 朗子(訳)	やり抜く力	¥1,600	ダイヤモンド社	2016	9784478064801	12	北村 信治	H7・法
6	アガサ・クリステイ 青木 久恵(訳)	そして誰もいなくなった	¥760	早川書房	2010	9784151310805	10	渡部 弘之	H8・経
7	丹羽 宇一郎	死ぬほど読書	¥780	幻冬舎	2017	9784344984622	8	丹田 公和	46・文
7	外山 滋比古	乱読のセンテンス・思いがけないことを発見するための読書術	¥580	扶桑社	2016	9784594075583	8	丹田 公和	46・文
7	クリュー・マークニコル 神崎 朗子(訳)	スタンフォードの自分を変える教室	¥740	大和書房	2015	9784479305583	8	三枝 真	H8・法
10	恩田 陸	蜜蜂と遠雷	¥1,800	幻冬舎	2016	9784344030039	6	柿沢 亜絵里	H26・法
10	デボライnstール 松原 葉子(訳)	ロボット・イン・ザ・ガーデン	¥918	小学館	2016	9784094062373	6		
10	デル・カーネギー 山口 博(訳)	人を動かす	¥702	創元社	2016	9784422100982	6	古本 圭司	H2・商

私の仕事場

26年前、多少の野心を持って独立した時は、いずれ築地に大きなビルを建てて電通を日陰にしようと思っていたのですが、電通さんは汐留にもっと大きなビルを建てて移りました。当社はいまだに高田馬場の21坪の事務所から脱出できずにいます。普通に飛ぶよりも、低空飛行を長く続ける方が難しいと妙な慰められ方をされていますが、それでも10人に増えたスタッフを乗せて墜落しないよう、企業PR誌の編集制作を中心に、Web、イベント、映像と、クライアントが求めれば原則何でもやりますと引き受けています。当社の営業品目は、



ノラ・コミュニケーションズ 中川 順一

コミュニケーションに関する一切です。社名のノラについては、説明すると長いのでホームページを見てください。中大文学部を卒業し、22歳で出版社に就職。独立し「編プロ」ではなくいつか「版元」を名乗りたいと思っていましたが、40歳頃になると出版コード取得が楽になり、クライアントが多いエネルギー業界の専門書を出版し販売するようになりました。その後、自費出版や一般書の刊行も行っていますが、ビジネスとしての出版が大変な時代であることは諸先輩のご高承の通りです。たとえ貧しくとも出版文化を残すぞと、

近所に借りた書庫に返本を台車で運びつつ思う日々。書庫のあるあたりは、昔、諏訪町と言いました。中央本線に乗って諏訪を過ぎれば筑摩地方。いつか、筑摩書房さんの手前ぐらいたいに行きたいと、出版部門は「諏訪書房」の看板で営業しています。



出版白門会へようこそ

(アイウエオ順)

伊藤 和幸(いとう かずゆき) SBクリエイティブ 2016年 法学部卒

伊藤和幸と申します。昨年2017年の7月に(株)LIXIL住宅研究所という会社で現場監督等を行っていましたが、転職し現在は営業部で働かせて頂いております。先日、初めて総会に参加させて頂き出版白門会に入会させて頂きました。出版業界に入って半年とまだまだの若輩者では有りますが出版白門会と出版業界の更なる発展のため努力してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



島田 和幸(しまだ かずゆき) 誠晃印刷 1995年 商学部卒

島田和幸と申します。飯田橋のトーハン様の裏という都心で印刷工場を稼働させている稀有な会社で、写真集やアパレル、美術品カタログなど品質を求められるもの中心にやっています。(株)大誠社という出版社もグループにあるのですが、何とんでも副業的な日帰り温泉+コテージ「矢板温泉まことの湯」(栃木県矢板市)が皆様には一番うけます。うれしいですが微妙な気分です(笑)。何卒よろしくお祈りいたします。



橋爪 吉博(はしづめ よしひろ) 日本エネルギー経済研究所 1982年 法学部卒

橋爪吉博と申します。現在、石油・エネルギー情勢に関する調査分析に携わるとともに、講演や連載等を通じて、石油情報や政策提言の発信に努めています。「モノ書き」の端くれとして、諸先輩の皆様にも勉強させて頂きたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。日経ビジネスオンラインに「石油・新三国志」、フジサンケイビジネスアィ「月刊エネコ：地球環境とエネルギー」に「石油新時代」を連載中。



宮崎 亜巳(みやざき あみ) ロイター通信記者 1987年 経済学部卒

このたび入会させて頂きました、宮崎亜巳です。卒業後はジャパントイムズの記者となり、ロイターに会社を変わってずっと記者をしております。大蔵省(当時)、日銀、外為市場、小泉首相の番記者、難民移民問題と、様々な分野を担当してきました。報道は出版業界とは少し異なるかもしれませんが、ロイターといえど顧客の基本は新聞社。「紙媒体」の行く末には大きな関心と懸念を抱いております。いろいろと業界の課題や最先端情報など、教えていただければ幸いです。



箱根駅伝予選会～本戦応援

北村 信治

生憎の空模様の中、丹田さんと立川駅で待ち合わせをして、予選会の場、昭和記念公園へ向かいました。1 昨年の予選会では 10 位に入ることができずに「40 秒の差」で本戦出場を逃しました。「我々母校が箱根駅伝に出場できない！」前代未聞の事件でした。走る選手は現役の大学生ですが…応援する我々も悔しい 1 年を味わいました。悔しさを胸に予選会を応援。ゴール付近で「C」の選手をチェックしましたが、前回、「選手の順位が縦になってゴールイン」していたのに比べ「横になってのゴールイン」が今年の結果でした。「横になってのゴールイン」はチーム全体が同じレベルで安定感が伺えることです。確かに、日本大学は留学生がトップでゴールインしてもそれに続くメンバーが縦にゴールインしていたので、昨年の中央大学のような感じで、不幸にも本戦を逃していました。

我々 OB には計り知れない練習量をこなした努力の結果が今回の予選会の結果になったのだと確信します。

そして、1 年ぶりの本戦出場。去年のお

正月は、「他校の出ている箱根駅伝を見たくない！1 秒たりともテレビを見なかった…」そんな時を過ごしました。満を持しての復路応援。前日の往路では健闘し、10 位でのゴールイン。「6 区山下りを利用して頑張れば…もしかしたらシード権が獲れる！」このように感じた OB の方も多かったのではないのでしょうか？ところが、近年力をつけている新興勢力校の実力は目を見張るものがあります。精一杯復路ゴール付近（応援場所）にて白石さんと応援をしましたが、願い叶わず復路 18 位・総合 15 位で今年も



予選会からのスタートになりました。確かに、試合に負けてしまった…という思いはありますが、「我が中央大学の総合 15 位までの学校は復路一斉スタート・襷跡切れなし」という結果でしたので、来年への布石はできたのではないのでしょうか？終了後の報告会にて藤原新監督は「私の力の無さ、申し訳ない…」とコメントされていました。伝統の重圧に耐えながら頑張った 1 年を振り返れば、きっと次回、いや数年内にはシード権を獲得し新しい「C」の風が吹くことでしょう。



第 94 回箱根駅伝を振り返って 一早大を優勝をさせてはいけない一

スポーツアナリスト 加藤 守
(日本オリンピック・アカデミー研究委員)

大学のスポーツ部門で最も充実しているのは早大だ。しっかり今年も箱根優勝への道筋をつけている。もし来年にでも優勝すれば 2 連覇・3 連覇をし、優勝最多を誇る中大を追い越すのは必至で更に優勝を重ねるであろう。

では中大はどうすればよいのか！勿論優勝（勝つ）という目標を立てていかねばならない。中大が 6 連覇をした時、西内監督は相応なハード・トレーニングを選手に課していたといわれる。

加えて現在は、医・科学サポートを取り入れた新しいトレーニング方法を考えねば

なるまい。旧くはメルボルン・オリンピック大会三冠（5 km、1 万 m、マラソン）のザトベック、彼はベルリン・オリンピック大会で入賞した村社（中大）の当時誰もがやってはいないインターバルトレーニングを参考に実践・成功している。

因みに、今回の結果から藤原監督は力のある舟津（1 区）を主将から外し、更なるレベルアップを課すと共に中堅どころの底上げを目論む。これも一つの方法であろう。何故ならば 1 区は襷渡しのスパートで 1～1.5 秒の差は 10 m 以上で 2 区の走りに大きな影響を及ぼす。つまり長距離とは言

え、駅伝の場合瞬発力も重要なのである。更に箱根の場合各区 20 km 超、しかも山の上下り・寒さなどを考慮しなければならぬ。

今回平昌オリンピック大会で成功したスケート女子をご存じであろう。トレーニングはデッドまで追い込むという。かつて中大が優勝した時もこのようなことを体力測定で行っていた。

何れにせよ早急に対応しなければ、中大の復活はおぼつかない。そして早大に追い越されるであろう。

藤原・浦田体制に期待しよう！

ホームカミングデー・秋元康氏講演会を拝聴して

北村 信治

10 月 22 日（日）、生憎の雨の中ではありますが、秋元氏の講演会が行われました。氏は中央大学附属高校在学中に「放送作家」のアルバイトを行っていたという。中央大学文学部に進学後も同様に「放送作家」傍らに学生をされていた。「大学にレポートを提出しても金にはならないが、放送作家をしていれば…金になる」こんな矛盾から大学を中退し、今があるという。

オタクが集まる秋葉原という舞台上若い女性たちをプロデュースしてできたグループが「AKB48」である。私の中学時代にあった「フジテレビ・おニャン子クラブ」も氏のプロデュースした番組である。「人のやらないことを創造して（こんな場所で成功するわけがない…と思われても）、プロデュースしたら成功した」と。また、氏のもう 1 つの顔は作詞家。なかでも「美空ひ

ばり」さんが晩年歌った「川の流れるように」の作詞を氏が手掛けている。多くの方々が知っているこの曲の作詞秘話なども話された。終始、「こんな自分を温かく迎え入れていただいた中央大学の皆さんに感謝しています」と、氏は心にある「中退」という二文字が引っかかっていたとの発言が多くあったが、これを払拭する活躍は素晴らしい尊敬できる OB です。

白門同窓生の本 「老後マネー戦略家族！」

松村美香

大学卒業以来ずっと国際協力の現場で働いてきました。異文化社会は刺激と感動の連続で、その経験が小説執筆に活かされてきました。

でも、世界を知った今こそ日本を描きたいと思うのです。

主人公は東京一戸建てに暮らす 4 人家族。

長男の鬱と退職が引き金となり、家族は崩壊寸前です。お金も夢も未来も風前の灯。さて、どうしよう……。

4 人がそれぞれ一歩踏み出すことで、新しい道が見えて来る。老後を迎える世代だけでなく、若者たちに読んでいただきたい一冊です。



中央公論新社（中公文庫）本体 720 円
ISBN 9784122063853
2017 年 3 月刊

第17回能楽鑑賞会に参加して

藤実 正太

12月の能楽鑑賞会では、能「隅田川」、狂言「文荷」を鑑賞しました。

能「隅田川」の舞台は、現在の東京を流れる隅田川ではなく、中世、まだ関東地方が荒野だった時代の隅田川。

行方不明の子を探して京から女が「隅田川」に下ってきますが、子供は既に死んでおり、墓の前で子供の霊に直面するというストーリー。

物語は悲劇的な結末となるものの、中世の隅田川という舞台は、どこか神秘的幻想的で、また、能の中でも引用される、「東下り」の在原業平に思いを致すこともできます。

クライマックスでは、子供の墓前で唱える念仏に併せて、いつしか本当の子供の声

が聞こえてくるという演出も施され、大変心を打つものがありました。

夏目漱石も愛したという能「隅田川」。存分に堪能させていただき、有難うございました。



鑑賞会後は、同じ国立能楽堂内のレストランにて開催された懇親会にも出席させていただき、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。



学員交歓

■ 57 ネット主催の箱根駅伝応援後の合同新年会に参加しました。

♣ 1月3日、白門57ネット主催の表記の新年会が東京駅八重洲口近くの「こうじのはな」で開催され、出版白門会からの3名を含む30名近くの白門の仲間が参集しました。恒例となったこの会も、昨年は母校が出場しなかったために中止となり、2年振りの開催でした。

今年の箱根駅伝は、少なくともシード権獲得は期待できる大会でしたが、残念ながら総合15位と、またしてもシード権を逃してしまいました。とは言え、最近5年の棄権や19位という屈辱的な成績は脱したという微妙な雰囲気の中の新年会でしたが、そこは気心が知れた同窓の集まり、宴席は忽ち和気藹々の賑わいとなりました。1984会（通称59会）や57ネットの参加者には、名古屋、長岡、栃木から駆けつけた方々もあり、この会が支部の壁を越えて、愛されていることがうかがえました。

今年もまた立川に応援に行かなければならなくなりましたが、苦しい時こそその応援団と言う事で、来年の新年での再会を祈念しつつお開きとなりました。（広報委員会・丹田）



「57ネット」との合同懇親会（こうじのはな）

■ 2月3日（土）大学学員会、年次支部協議会・大学支援委員会主催のイベント『経済学部ゼミ連合会 / 商学部ゼミ連合会トップゼミによる提案発表会（プレゼンテーション会）』に参加しました。

♣ 経済学部伊藤伸介ゼミから『中央大学受験生増加大作戦』『高幡不動産商店街の活性化計画』

商学部久保知一ゼミから『顧客間コンフリクトのマネジメント』『なぜ、シェアリングエコノミーの普及は進まないのか…日本人の〈信頼〉に着目して』との題目でプレゼンテーションがありました。学生さんが考えたテーマを仮説を持って実証し結論付けていました。OBからは研究内容についてシビアな質問もありましたが…それはそれとして、彼らの頑張りや正直驚きと感銘を受けました。

特に商学部久保知一ゼミの発表は、プレゼンテーション技法や聴衆を惹きつけるトークは凄いの一言。こんな後輩達が社会に出て仕事をする…白門魂ココにアレ！って感じました。

会の後は場所を移してランチ懇親会。『中央大学卒業生の母校愛は早稲田、慶應に引けを取らない。後輩思いの先輩が多いですね！』と現役の学生に言われました。『自分が先輩に受けた恩を今度は自分が後輩に伝える（サポートする…）ことが伝統の白門魂…』この連鎖が続けていることが真の大学ブランドだと思います。

自分は法学部卒なので彼らのようなアカデミックな研究とは無縁だったので、羨ましくも感心しました。社会に出て感じるのには法学部も良いが商学部の方が実社会では役立つ学問が多いなあと、感じます。頑張れ後輩たち！（広報委員会・北村）



ゼミ発表会

告知版



■ 平昌冬季五輪に参加・出場した中央大学関係者について

2月9日より開催された第23回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）および、平昌2018パラリンピック冬季競技大会に参加・出場した中央大学関係者は以下のとおりです。（大学HPより・敬称略）

- 荒井 秀樹 昭和55年 経済学部卒業 クロスカントリー／バイアスロン 監督
- 蛭沢 克仁 平成7年 商学部卒業 スキー／クロスカントリー 監督
- 大日方 邦子 平成8年 法学部卒業 パラリンピック日本選手団団長
- 吉田 圭伸 平成21年 法学部卒業 スキー／クロスカントリー 選手

■ グローバル化を加速—THE アジア大学ランキング2018

2018年2月6日に発表されました、アジア大学ランキング2018（Asia University Rankings 2018）で中央大学は251-300位にランクインしました。日本の私立大学の中では医療・薬学系大学を除き6位のランクインとなります。（大学HPより）

■ ①出版白門会ホームページのご案内

アドレスは <http://pub-hakumon.jimdo.com/> です。Google や Yahoo といった検索サイトで「出版白門会」を検索すると上位にヒットしますので、そこからのアクセスも可能です。

■ ②出版白門会事務局へのご連絡は下記メールアドレスをご利用ください。

E-mail: pub.hakumon@gmail.com です。

■ 会費納入のお願い（年会費金額¥5,000）

①同封の振込用紙にて、もしくは下記口座へお振込みをお願いいたします。

郵便振替口座記号番号 00180-8-600659

加入者名 中央大学学員会出版白門会

振込用紙がなくても、直接郵便局の窓口やATMでも手続きができます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、ゆうちょダイレクト（パソコン、携帯、スマホなど）もご利用いただけます。

②他行（銀行など）からの振込みをされる場合は下記口座をご指定のうえ、手続きして下さい。

ゆうちょ銀行 当座預金

店名（店番） 〇—九（ゼロイチキウ）

口座番号 0600659

口座名義 チュウオウダイガクガクインカイシュツパンハクモンカイ

出版白門会は皆様の会費のみで運営しております。ご協力のほど何卒よろしくお願いたします。

編集後記

編集中に飛び込んできた演田前会長の訃報。兩谷さんの訃報があった矢先の出来事に言葉を失いました。出版白門会創設からのご尽力に感謝いたしますとともにこれからの会の発展に微力ながら頑張る決意を新たにいたしました。合掌。冬季・平昌オリンピックでは日本のメダルラッシュに沸き、選手たちの力が世界基準になった事は、とても喜ばしいことです。特に金メダルを取った選手の歓喜の表現にお国柄が出ているように感じました。スปีースケート女子500メートルでの小平選手の行動には感動しました。仲間を思いやり次の滑走選手のために観客の騒ぎを制止したりウィングランと一緒に健闘を称えあう…政治がギクシャクしても民間レベルではお互い尊敬しあえることは素晴らしいことです。また、小平選手をサポートされた相澤病院の理事長さんの気概には脱帽です。数年前に映画「神様のカルテ」の舞台になった病院でもあります。目頭がジーンときたオリンピック週間でした。そして、努力・謙虚といった気持ちが再認識できた機会でもありました。（北村）